

第5回 大和北道路有識者委員会

議 事 要 旨

1. 日 時 平成15年2月3日(月)9:00～

2. 場 所 奈良ロイヤルホテル 2階 鳳凰の間

3. 出席者

委員 長	近畿大学商経学部経済学科	教授	斎藤 峻彦
委 員	京都大学大学院工学研究科	教授	飯田 恭敬
	奈良女子大学	名誉教授	近藤 公夫
	(財)元興寺文化財研究所	所長	坪井 清足
	神戸大学大学院法学研究科	教授	山下 淳

(五十音順)

4. 議 事

前回委員会の論点について、内容確認を行いました。

第4回有識者委員会の議事要旨

事前周知及び意見把握について事務局が説明しました。

大和北道路のPIプロセスの今後の進め方(案)

シンポジウム(案)

ヒアリングの実施(案)

公聴会の実施(案)

周知キャンペーンの実施

上記に関して次のような意見がありました。

- ・シンポジウムの広告は、地元新聞も利用して行うこと
- ・ヒアリングは公開を原則とするが、必要な場合には、委員会委員が意見把握を行い、委員会で報告するなどの方法も検討する
- ・ヒアリングは弾力的に実施する
- ・ヒアリングに関しては、まず地元経済団体、交通関係、観光関係、文化財保護団体、奈良周辺の自治体、教育関係、地元自治会、古都法や地質関係の専門家から人選。その後、必要に応じて適宜ヒアリングの機会を追加
- ・できるだけ幅広く、多様な意見を把握するために、公聴会を実施することとする。具体的な周知方法やスケジュール、公述希望者が多数の場合の選考方法、頂いた御意見の適切な公開方法については、検討する
- ・PIプロセス周知キャンペーンの実施時期、回数については調整する

検討状況について事務局から説明した後、アンケートの概要について委員長から説明がありました。

大和北道路のルート・構造の検討状況
アンケート

上記に関して次のような議論がありました。

- ・「大和北道路のルート・構造の検討状況」に関する主な指摘事項
 - ・ルート・構造の特徴については、長所・短所の区別をやめ、全て箇条書きとする
 - ・ジャンクションに関する表現は工夫する
- ・「アンケート」に関する主な指摘事項
 - ・大和北道路の環境対策を配慮事項に追加する
 - ・奈良県北部地域の表現は再検討する
- ・世界遺産に関する緩衝地帯、歴史的環境調整区域については説明を追加する
- ・各委員から今週を目途に意見を提出頂き、上記の指摘事項と併せて修正する

その他

次回委員会について

- ・本日の議論を踏まえ、ヒアリング、公聴会の内容について審議を行うとともに、現地調査の実施方法についても検討する

以 上